

平成28年(2016)秋号[10月]  
小平市小川西町2-26-21  
電話・ファックス 042-308-7303  
E-mail: isano@jcom.home.ne.jp

# 佐野いくお 議会報告

——市政、市議会をもっと身近なものに!—— <http://members.jcom.home.ne.jp/0933499601/>

発行責任者: 木村 半蔵



ブログ (<http://snipesano.exblog.jp/>)

## ご挨拶

仲秋の候、皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この夏は、リオオリンピック、パラリンピックの日本人選手の大活躍で大いに沸きました。4年後の東京では、ぜひ実際の競技を観て感動を味わってみたいものです。

さて、東京といえば、小池新都知事のもと、連日豊洲市場問題のニュースで賑わっています。いつだれが変更したのか、行政の闇の部分の明らかになることに加えて、すでにできあがりつつある施設が安全で、使用できるのか、無駄にならないのかも明らかにしてほしいものです。なお、一度、設計されてしまい、費用が膨らんでも止めることができない状況は、小平市の仲

町テラス建設の時と似ています。議会は何をしていいのかと言われてもしかたありませんが、追認せざるを得ない状況と、多数決という仕組みのなせる技だった気がします。

また、議会といえば、富山市から始まった政務活動費問題です。額の問題ではありませんが、小平では一人当たり月額3万円が会派に支給されます。不用額は返還します。しかし、過去には他会派においてですが、海外の視察旅費に充てた、市長選直前に支持する候補者に有利にとれるピラを作成した、身内にピラを配らせバイト料を払おうとしたなど、市民の理解は得にくいグレーな部分もなくはありませんでした。現在は規定を整備し、領収書も全て公開されています。今後も制度の趣旨にのっとり、市政のために適正に活用していきたいと思えます。

市議会議員

佐野郁夫

## 一般質問

①通学路への防犯カメラ設置と交通安全対策等について

(教育環境の整備は市当局の仕事だ。学校や教育委員会に押し付けるべきではない。)

質問 ①説明会における参加者の意見は。

②すでに運用開始した防犯カメラの効果と課題は。

③保護者やボランティアによる見守り活動の現状は。

④学校正門前の都市計画道路の整備予定は。

⑤小川西グラウンド西のこぶし通りに予定の信号機はいつ設置されるのか。

⑥北校門前の朝の給食食材搬入車に対する通学児童の安全対策は。

答弁 ①防犯カメラ設置でより安全なまちになってほしいという意見があった。

②特段の課題なく運用されている。犯罪抑止効果について好意的意見がある。

③ふれあいパトロールとして、毎朝、横断歩道等で児童の登校時の見守り活動を行っているが、新たな人材の確保が課題である。

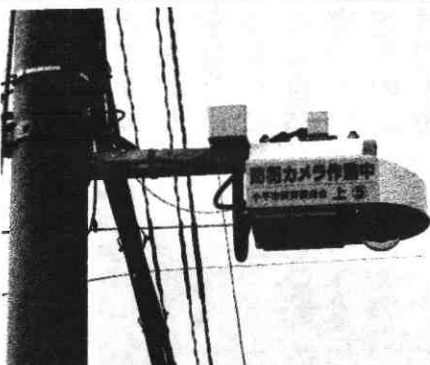
④今後10年間の優先整備

路線には選定されていない。  
⑤警察からは何も聞いていない。

⑥業者に徐行と一方向に進むよう協力要請している。

意見 これまで市は防犯カメラの設置に消極的で、いろいろと条件をつけて動こうとしませんでした。ところが、都が通学路への設置補助を始めた途端、一気に4年で95基も設置することになったのは、不思議です。しかも、設置のための準備などは学校と教育委員会任せ。防犯や交通安全用具の貸出しや管理、さらには110番のいえ事業も学校任せです。これら児童の安全を守るなど教育環境の整備は、市が行うべき仕事だと強く申し上げました。学校は児童生徒の教育に専念できるようにすべきです。

上宿小の通学路に設置された防犯カメラ (13小地区にも5カ所設置されます)



上宿小の通学路に設置された防犯カメラ (13小地区にも5カ所設置されます)

# 一般質問

② 伝統文化としての祭り等の位置づけ及び継承と観光行政について  
(地元のお祭りや盆踊りを文化に位置づけ、情報発信すべきだ。)

【質問】 ① 文化振興基本方針の改定における神社仏閣等の祭礼、盆踊りの位置づけと市の認識は。

② 祭りの日時、内容、ルート等を市報やホームページで紹介できないか。

③ 盆踊りの日時、内容、場所の一覧を紹介できないか。

④ 地域のイベントの日程と重なる学校の登校日は調整できないか。

【答弁】 ① 文化資源の一つとして捉えており、祭礼等を通じ、子どもたちが地域の文化に触れ、郷土愛と後継者を育成していくことも重要と考えている。

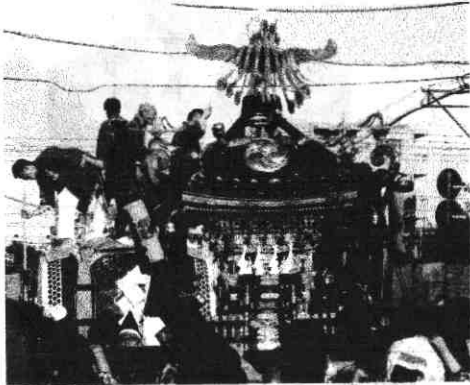
② 今年6月に設立された「こだいら観光まちづくり協会」が開設予定の観光ポータルサイトで発信できるものと考えている。

③ ②と同じく、こだいら観光まちづくり協会で発信できるよう調整していく。

④ 各学校で総合的に判断しながら年間の教育過程編成

に勤めている。今後も地域と共にある学校づくりに配慮するよう働きかけていく。

【意見】 これまで市はいわゆる「観光協会」設立には消極的でしたが、今年になってにわかには、まちづくりを冠した「こだいら観光まちづくり協会」の設立を決めました。過去において、神社の祭り等は、宗教だからと一線を画して取り上げませんでした。この協会設立により、情報発信等がしやすくなったようです。しかし、現在、市内で神輿が巡行する箇所数(8箇所はある)も、盆踊りの箇所数(16箇所はある)もまったく把握していないとの答弁に、これまでの消極姿勢の表れではないかと感じました。



先日行われた熊野宮の神幸祭

③ 学校現場における指導のあり方と教育委員会の見解について  
(小平の教育目標である「生きる力」を育むため、現場の様々な指導の一つ一つを改めて認識し直す必要がある。)

【質問】 ① 小学校でのアサガオの育成で、子どもの何を育てようとしているのか。

② 雪が積もっても校庭で遊ばせないのはなぜか。

③ 十三小だけが校庭は芝生だが、土との教育的差をどう認識しているのか。

④ 運動会での組体操についての方針は。

【答弁】 ① 植物に関心を持ち、自然の素晴らしさに気付く、大切にすることを育てること

を目的にしている。

② 全ての小・中学校で、思わぬケガの予防やグラウンドの管理の観点と、雪の状況や健康状態で学校がそれぞれに判断し、許可した時だけ使用を認めている。

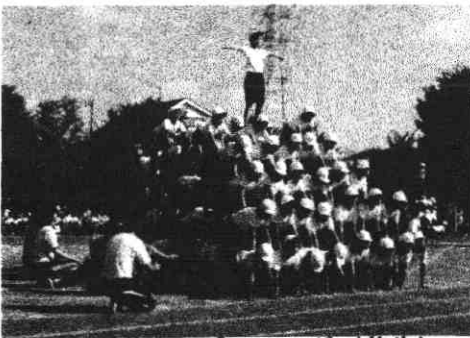
③ 使い勝手の差はあるが、授業や行事のねらいを達成することに変わりはない。

④ 今後はタワーについては3段階まで、ピラミッドは3

段階までとするよう指導した。

【意見】 夏前に学校に行くこと見事に揃って育ったアサガオが並んでいます。失敗しない教材で、自然を自分のものにし、育てたつもりにさせて、子どもの心に自然を大切に育つのでしようか。また、芝生の上

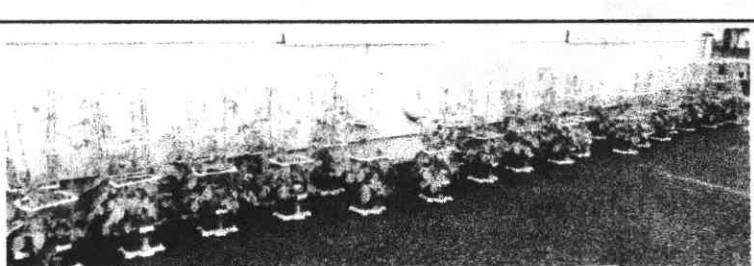
に綺麗に積もった雪でも遊べない子どもたち。大人の都合で、遊びという子どもの特権を奪われた子どもたちは不幸です。1年生の時から芝生で思い切り転がりながら体力を付けてきたのに、一律にピラミッドは3段階までと決めるのもいかなものかと思えます。これまで、100人で作り上げた6段のピラミッドで育ったものをしっかり評価し、次につなげてほしいものです。



昨年の運動会のピラミッド(芝生)



雪遊び禁止で翌日も綺麗に残った雪



園芸農家のように見事に育った朝顔



# 議案に対する各会派の賛否等【結果】

## □9月議会の主な内容

議案の採決及び取扱いの結果は下表のとおりです。

市長提出議案（採決したもの）は、全て全会一致で同意、可決でしたが、一般会計補正予算の交付税4億円減という見込み違いとその対応が問題視されました。議員提出議案については、2件を撤回承認し、委員会の総意で修正して出し直しのうえ可決。1件は議員一人が反対したため、討論の後、賛成多数で可決となりました。

## □選挙管理委員会委員及び補充員選挙

任期満了を前に、選挙管理委員会委員（4名）及び補充員（4名）の選挙が初日の議場で行われました。結果は次の通りです。

### ◎選挙管理委員

石塚信治（8票）

金子ふゆみ（8票）

加藤俊彦（6票）

山口勝（6票）

### ○同補充員

剣持庸一（8票）

長谷川晶子（8票）

立花隆一（6票）

藤原哲重（6票）

議案番号	市長提出議案（正式件名ではありません） ※議長（政和会）は除く	結果	政和	公明	フォー	共産	生ネ	緑党	ムサシ
		※27	7	6	6	4	3	1	1
33	■小平市教育委員会教育長（古川正之氏〔現六小校長〕）の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○
34	■小平市教育委員会委員（森井良子氏〔3期目〕）の任命	同意	○*1	○	○	○	○	○	○
35	■固定資産評価審査委員会委員（福井知子氏〔3期目〕）の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○
36	■人権擁護委員候補者（石川貞子氏）の推薦	同意	×	○	○	○	○	○	○
37	平成28年度一般会計補正予算（3回目） 約9億9千万円増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○
38	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（1回目）2億3300万円増額	可決	○	○	○	○	○	○	○
39	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（1回目）4300万円増額	可決	○	○	○	○	○	○	○
40	平成28年度介護保険事業特別会計補正予算（1回目）1億7783万円増額	可決	○	○	○	○	○	○	○
41	平成28年度下水道事業特別会計補正予算（1回目） 2億9316万円増額	可決	○	○	○	○	○	○	○
42	介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
43	市道路線の認定について（開発で受入れた道路等13路線を認定）	可決	○	○	○	○	○	○	○
56	市道路線の廃止について（延長または短縮して再認定の5路線を廃止）	可決	○	○	○	○	○	○	○
62	平成27年度一般会計決算の認定	閉会中に一般会計決算特別委員会で審査							
63	平成27年度特別会計決算の認定（4つの特別会計〔国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道〕）	閉会中に特別会計決算特別委員会で審査							
61	■損害賠償の額の決定等について（道路陥没で車損傷 約120万円と和解）	可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案									
13	原発事故避難者への支援の継続を求める意見書提出について	撤回（委員会総意で新たな議案提出の為）							
17	■原発事故避難者への支援の継続を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○
14	電力小売の全面自由化に伴い電源構成等の情報開示の義務化を求める意見書提出について	撤回（委員会総意で新たな議案提出の為）							
18	■電力小売の全面自由化に伴い電源構成の情報開示の義務化を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○
15	パナマ文書の徹底調査等を求める意見書提出について	継続審査（総務委員会）							
16	米軍人・軍属等への綱紀粛正及び事故、犯罪の防止に向けた実効ある施策を講ずることを求める意見書提出について	継続審査（総務委員会）							
19	返済不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	×
20	次期介護保険制度改正における要介護1、2の生活援助等を外さないことを求める意見書提出について	継続審査（厚生委員会）							
請願（1件） 陳情（2件）									
請 6	市における男女共同参画の施策を具体的に進めることについて	継続審査（生活文教委員会）							
陳12	バランスのとれた受動喫煙防止対策を求めることについて	受理							
陳13	ごみ減量施策の早急な推進と焼却施設建てかえのための市民参加の検討委員会設置について	受理							

会派名：政和；政和会（自民、無所属）／公明；市議会公明党／フォー；フォーラム小平（民主、社民）  
 ／生ネ；生活者ネットワーク／共産；共産党小平市議団／緑党；緑の党（無会派）／ムサシ（無会派）  
 ■印は委員会付託を省略し即決した議案 \*1は退席1名（佐野：会派と意見が合わなかった為）

平成27年度、皆さんの税金はこんなところにこれだけ使われました。  
 ( )内の数字は、平成26年度との差(+、-)です。  
 歳出10,000円(+230円)はこのように使われました。

一般会計歳出決算額(615億5033万円)を1万円に換算して、事業別に表したものを掲載します。

<b>民生費</b> 4,990円 子どもやお年寄り、体の不自由な方などの福祉のために (+92円)	<b>公債費</b> 557円 市の借入金の返済に (-104円)	<b>総務費</b> 1,367円 行政運営のために (-108円)	<b>土木費</b> 740円 道路や公園の整備など住みよいまちづくり (+80円)	<b>教育費</b> 1,116円 学校、公民館、体育施設などの整備や教育運営 (+43円)
<b>衛生費</b> 741円 ごみの処理や市民の健康を守るために (+13円)	<b>消防費</b> 340円 火災や台風などの防災活動に (-10円)	<b>議会費</b> 80円 市議会の運営に (+2円)	<b>商工費</b> 44円 雇用の振興や消費者の保護のために (+17円)	<b>労働費</b> 7円 働く機会を確保するために (+1円)
<b>農業費</b> 17円 農業の振興と育成に (+2円)	<b>その他</b> 1円 (±0円)			

1人当たり市税16万3千円(-3千円)納めて、32万6千円(+5千円)のサービスを受けています。また、1人当たりの借金[元金]は19万9千円で貯金は5万3千円です。

決算特別委員会設置  
 (佐野) いくおは一般会計決算特別委員会委員長



活動日誌



- はつきり やります!
- 30日 親善訪問(小平商工会) 告示・議案配布ほか
- 27日 会派会議(幹事長会議後)
- 26日 三多摩議員連夏期研修
- 25日 一般質問作成ほか
- 24日 生活文教委員会
- 23日 9月議会予定議案説明
- 22日 小川陸会ボーリング大会
- 21日 明大OB会役員納涼会
- 20日 自民党19選挙区会議
- 18日 南あわじ市視察
- 16日 保護司広報・作文審査
- 13日 被爆体験者講演会
- 10日 市内調査「防犯カメラ等」
- 8日 会派会議/都政勉強会
- 6日 「リオ・オリンピック」開会
- 5日 小平駅前サマーフェスタ
- 3日 小川一番自治会盆踊り
- 2日 小平町ツア説明会ほか
- 1日 学園南商店会盆踊り

八月の活動日誌

- 30日 来年度予算要望(市長へ)
- 29日 秋の交通安全啓発活動他
- 27日 市民剣道大会
- 26日 会派会議(幹事長会議後)
- 22日 議会運営委員会/会派会議
- 21日 グリーンエスティール運営委員会
- 20日 熊野宮大祭/交通安全教室
- 18日 小平神明宮奉納演芸会
- 17日 小平神明宮例大祭
- 16日 都市農政推進協と勉強会
- 15日 二中陸上競技大会
- 14日 高年齢福祉大会(ルネ)
- 13日 施餓鬼(延命寺)
- 12日 環境建設委員会
- 11日 生活文教委員会
- 10日 鈴木稲荷祭/大沼田祭
- 7日 環境フェスティバル
- 6日 交通安全講習会
- 5日 鈴木稲荷祭/大沼田祭
- 4日 緑と花いっぱいいの会研修
- 3日 生活文教委員会
- 2日 厚生委員会
- 1日 音声傍聴
- 30日 環境建設委員会
- 29日 施餓鬼(延命寺)
- 28日 高年齢福祉大会(ルネ)
- 27日 都市農政推進協と勉強会
- 26日 二中陸上競技大会
- 25日 小平神明宮例大祭
- 24日 小平神明宮奉納演芸会
- 23日 熊野宮大祭/交通安全教室
- 22日 小平神明宮例大祭
- 21日 小平神明宮奉納演芸会
- 20日 熊野宮大祭/交通安全教室
- 19日 市民剣道大会
- 18日 会派会議(幹事長会議後)
- 17日 議会運営委員会/会派会議
- 16日 グリーンエスティール運営委員会
- 15日 熊野宮大祭/交通安全教室
- 14日 小平神明宮奉納演芸会
- 13日 小平神明宮例大祭
- 12日 都市農政推進協と勉強会
- 11日 二中陸上競技大会
- 10日 高年齢福祉大会(ルネ)
- 9日 施餓鬼(延命寺)
- 8日 環境建設委員会
- 7日 生活文教委員会
- 6日 厚生委員会
- 5日 音声傍聴
- 4日 環境建設委員会
- 3日 施餓鬼(延命寺)
- 2日 高年齢福祉大会(ルネ)
- 1日 都市農政推進協と勉強会

九月の活動日誌

おしらせ

今後の議会予定

- 10月11日 決算特別委員会
- 18日 広聴広報委員会
- 19日 21日 常任委員会視察(前)
- 26日 28日 常任委員会視察(後)
- 11月3日 4日 議会報告会
- (市内4か所にて)
- 8日 11日 常任委員会
- 29日 12月議会(初日)
- 30日 12月2日 一般質問
- 12月6日 9日 常任委員会
- 20日 本会議(最終日)

編集後記

選暦を迎えるこの機に小平二中(昭和47年卒)同窓会をやるとうとうということになり、コピー機や印刷機があり、小平に詳しいいからと、幹事にさせられました。卒業生約360名の内、連絡先が分かったのは100名。旧地番の実家を調べ、行方を聞くことや会場の手配も簡単ではありません。市内に適当な会場が無いので、同窓会を出身校の体育館などで、すべて準備手配してくれるサービスを市がおこなった。まちの活性化につながるのではないかと、ふと思いました。「こいだいら観光まちづくり協会」に期待したいところです。

